

再起誓った夜 今季は箱根で優勝だ ～中大駅伝チーム 新人紹介式～



新庄主将の決意表明

新人選手紹介で駅伝主将・新庄浩太選手（法学部3年＝兵庫・西脇工高）のあいさつが印象的だった。

「昨シーズンは、悔しい結果に終わりました。チームの雰囲気は、よいものではありません」

痛烈な言葉だ。会場からは驚きの声があがった。

そろいの紺のスーツ、中大の「C」マークをあしらった赤いネクタイをきりと締めた。主将の表情はユニホーム姿と同じく引き締まっていた。

「中央大学箱根駅伝を強くする会」（上岡君義会長＝名誉評議員）による選手激励会・会員懇親会が4月16日夜、東京・上野の上野精養軒で行われた。陸上競技部長距離ブロック新生を歓迎する会で、新入部員を含めた駅伝メンバーが登壇し、力強くあいさつした。会場には応援団からリーダー部、プラスコア部、チアリーディング部も駆けつけ、「強くする会」のメンバー約120人が前回総合8位に終わったチームの新しいシーズンの門出を祝った。

チームの雰囲気がよくないとは、当初目標の3位から大きく順位を落とす結果になったための一時的なものだろう。

前回成績は総合8位。往路は山登りの5区で苦戦し、トップの東洋大に12分21秒差をつけられる12位。復路では26年ぶりの一斉スタートを経験しながら6位まで上昇した。



浦田監督

来賓あいさつで、井上彰・陸上競技部部長（法学部教授）が「伝統の力、みんなの力がうまくつながらないと、いい成績は残せない」と総括した。

駅伝はひとりの力では結果を出すことができない。走るときは一人だが、肩にかけているタスキには、多くの人の思いが込められている。2人のあいさつを通じて、記者は駅伝という競技の奥深さを実感した。

頑張れって言えない

女子マネジャーの加藤千里さん（文学部3年＝竹園高）によると、チームメートは普段仲がよく、チームワークのよさが強みだという。

そうしたチームは、選手だけでつくりあげたものではないだろう。支えるマネジャーの力も大きいはずだ。

選手の調子を気にかける加藤さんは、選手に声をかけるときも、一人ひとりのことをよく考えている。

例えば、選手にむやみに「頑張って」と言うのはいけない。好調な選手に言うのと不振の選手に言うのとでは、重みが全然違うからだ。

マネジャーのそうした気遣いが、選手の精神的な支えになっている。

箱根で優勝する

新庄主将は「新生生が加わり、今年の箱根を経験した人たちも多くいるから、目標を新たに掲げて頑張っていきたい」と意気込んだ。

浦田春生駅伝監督は「出雲、全日本



新庄翔太選手と山本先輩(右)とのツーショット

で3位以内、箱根は優勝を目指します。高いハードルですが、選手とともに頑張っていくと壇上で誓った。

ロンドン五輪代表に選ばれた山本亮先輩(2007年法学部卒、佐川急便)も主将を務めた。

新庄選手は、山本先輩に勝負の姿勢を学んだという。先輩は4年生の箱根で山登りの5区を走り、区間3位の激走を見せた。

五輪への道を走る先輩を見習って、自分たちも努力していきたい、と語る新庄キャプテンの目には闘志がみなぎっていた。

真っ赤な闘志

駅伝はチームのタスキを“つなぐ”。選手一人ひとりの気持ちも“つなぐ”。

みんなの「勝ちたい」という強い思いが一つになり、同じ目標に向かって全員が走る。駅伝という競技の魅力がここにあるのだろう。

中央大学を応援する多くの人たちや、チーム全員の気持ちの詰まったタスキを肩にかけて疾走する選手の姿を思

い浮かべると、2013年1月2～3日の次回大会が待ちきれなくなってきた。

チームカラーの真っ赤な闘志を見せてほしい。

(学生記者 田中未来=文学部1年)

重厚な激励会

〇……会場には久野修慈理事長・学員会会長や福原紀彦総長・学長が相次いであいさつに立った。重厚な激励

会からは「強くする会」のメンバーと中大陸上競技部との強い結びつきが伝わってきた。28年連続シード権を獲得している強豪チームを支えているのは、この「強くする会」の先輩たちだ。「駅伝をこよなく愛し、毎年の駅伝で中大の活躍に元気をもらっている」という。選手も「強くする会」の支えが日々の練習や駅伝での励みになっている。会場ではメンバーと選手が和気あいあいと談笑する姿が散見された。

中央大学駅伝メンバー 新入部員

選手名	学部	出身高	ベスト記録		
			5000m	1万m	1500m
小谷 政宏	経	日本文理大附	14・16・02	31・39・45	3・57・69
近藤 和輝	経	学法石川	14・32・68		3・59・52
徳永 照	経	倉敷	14・20・83	30・44・67	3・56・43
早川 文人	理	美方	14・22・03	30・47・26	4・11・72
藤井 寛之	経	浜松日体	14・24・49	31・07・01	3・57・18
松原 啓介	文	八千代松蔭	14・25・73	32・53・63	
三宅 一輝	法	利府	14・21・10	31・29・03	3・49・96
吉田 匡祐	法	九州学院	14・16・96		3・53・38
小篠 和幸	経	広島皆実	14・52・64		4・00・30
北元 雄	商	明石城西	14・54・09	31・58・39	4・00・81
片瀬 祐樹	経	藤枝明誠	15・23・87		4・10・51
戸塚 陽介	商	東農大二	14・49・90		4・04・01
比企野創典	経	中大附	15・53・80		
松本 龍晴	法	仙台三	15・28・84		3・59・24

(注)戸塚選手は3000m障害のタイム 9・19・13 ※タイムは左から分、秒。